

イベントレポート

令和4年度 咲くやこの花賞贈呈式

2023年2月14日 [火] 18:30～20:30

会場＝大阪市中心公会堂

<令和4年度咲くやこの花賞受賞者>

國久 真有 美術部門 [現代美術]
奥村 啓吾 音楽部門 [オペラ演出]
上村 吉太郎 演劇・舞踊部門 [歌舞伎]
桂 二葉 大衆芸能部門 [落語]
一穂 ミチ 文芸その他部門 [小説]

<スペシャルゲスト>

押尾コータロー
(平成14年度 音楽部門 [ギター] 受賞)

<司会>

加美幸伸 (FM COCOLO DJ)

<プログラム>

- ・賞創設40周年記念 ごあいさつ
桂 文珍 第1回 (昭和58年度) 咲くやこの花賞 大衆芸能部門 [落語] 受賞
- ・咲くやこの花賞贈呈
- ・受賞者活動紹介&インタビュー
- ・スペシャルゲスト記念ライブ [出演] 押尾コータロー



【咲くやこの花賞贈呈式】



司会 加美幸伸さんによる贈呈式開催の挨拶



松井一郎市長挨拶



第1回受賞者 桂文珍さんによるお祝いの挨拶



受賞者へ賞状と記念トロフィーの贈呈



●國久真有 美術部門 [現代美術]

國久真有さんの独特な表現技法を、映像を見ながら解説していただきました。自分の腕を真っすぐに伸ばし、体を軸に線を描くと円になる。水平線も真っすぐのように見えるけど遠くから見ると円。自分を中心に腕を使ってコンパスのように線を描くことで自分らしいスタイルになった。自分中心にと、我がままなように聞こえるかもしれないが、人生は自分のものなので素直に生きることが、自分の絵を描く技法には含まれていると、語っていただきました。





●奥村啓吾 音楽部門 [オペラ演出]

奥村啓吾さんの仕事であるオペラの演出について、自ら作ったパワーポイントを使ってご紹介いただきました。オペラはイタリアで生まれた芸術で指揮者は音楽の責任者、演出家は舞台上で見えるすべてを担当している。29歳の時に、オペラの演出をしたいと、言葉もしゃべれないままイタリアへ渡り、到着した初日にパスポートや現金の入ったカバンを盗まれたエピソードや、奥村さんが関わったイタリアのオペラや日本の舞台を紹介。最後に、オペラ歌手の歌はそばで聴くとメガネが震えるくらい共振し、そして感動します。是非、生のオペラを聴きに來てください、と締めくくっていただきました。



●上村吉太朗 演劇・舞踊部門 [歌舞伎]

上村吉太朗さんは、祖父が上村吉弥さんの同級生だったことで4歳から歌舞伎を観るようになり、8歳で歌舞伎の世界へ入った。初々しい初舞台の時の映像や2009年12月の南座の顔見世で片岡我當さんの部屋子となった時の写真、その後出演した「連獅子」、昨年の歌舞伎鑑賞教室「吉野山」の「忠信」の映像を見ながら歌舞伎の演技について解説をしていただきました。3月には東京豊洲のIHIステージアラウンド東京ではじまる新作歌舞伎「ファイナルファンタジーX」に出演する予定。今後の目標はと聞かれて、上方の歌舞伎に必要な存在になりたいと抱負を語っていただきました。

●一穂ミチ 文芸その他部門 [小説]

一穂ミチさんは、大学を出て同人誌を作っている時に、ある編集者の方に声をかけられて小説を書き始めた。「スモールワールド」は家族の物語。はた目には幸せそうに見えても実はそうでなかったりする現代。そもそも理想の家族って何だろうと自分自身が考えるところがあって書いたという。最後に一穂さんからのメッセージとして、小説ではお腹が膨れないし現実の戦争や災害を止められないけれど、それでも私の人生には物語で救われたという瞬間がいくつもあった。私自身そういう誰かの瞬間と手を握り合うような物語をつたない言葉を尽くして書いていきたいと思いますと語り、満場の拍手をいただきました。



● 桂二葉 大衆芸能部門 [落語]

2021年NHK新人落語大賞で女性初、そして満点で優勝をして以来、大忙しの桂二葉さん。東京の事務所に所属して、最近はテレビにも登場するようになり、まさに東西を駆け巡っている。実は今日は桂文珍さんの落語会に呼ばれていたけれど贈呈式があったので断った。あちらの方がギャラはよかったのに、と客席を沸かせて高座に上がり落語を一席語っていただきました。演目は古典落語「金明竹」。最後に続きは繁昌亭でと締めて大きな拍手をいただきました。



● スペシャルゲスト：押尾コータロー 平成14年度 音楽部門 [ギター]

咲くやこの花賞創設40周年を記念してご参加いただいたのは、平成14年の第20回咲くやこの花賞を受賞した アコースティックギタリストの押尾コータローさん。ギターを持って登場した押尾さんは、受賞当時を振り返って、大阪で活動して本当に良かったと思ったこと、そして今でも自慢の賞であることや、授賞式の忘れられないエピソードとして、トロフィーをもらった時に、肩にかけていたギターの紐が外れそうになったので、慌ててトロフィーを両手で抱えたら、大切なギターがレンガの床に落ちてバウンドするのを呆然と見ていたという話で場内を笑わせた後、素晴らしいギター演奏をしていただきました。最後に客席の拍手にこたえ、アンコールも演奏していただき咲くやこの花賞創設40周年を大盛り上がりのうちに締めていただきました。

演奏曲「戦場のメリークリスマス」 作曲：坂本龍一

「翼 you are the hero」 作曲：押尾コータロー

アンコール曲「Big Blue Ocean」 作曲・編曲：押尾コータロー

●最後に新受賞者に登場いただき大きな拍手で贈呈式を締めくくりました。